

日本語のテクノロジー ／ 日本語というテクノロジー

見城 武秀
成蹊大学文学部

「書くこと」に対するプラトンの批判

- 書くことは非人間的である
- 書くことは記憶を破壊する
- 書かれたテキストは、なにも応答しない
- 話される言葉は自らを弁護できるが、書かれた言葉にはそれができない

日本語のテクノロジーをめぐる問題

- 日本語というテクノロジー（文化）に関する分析が欠如している。その結果として、
 - ① 欧米文化の刻印を帯びた言葉のテクノロジーを安易に流用する傾向
 - ② 言葉のテクノロジーをめぐるヘゲモニー争いを、経済的観点からのみとらえる傾向
 - ③ 「文化」についての体系的分析を欠いた、場当たりの・断片的便利さを追求する傾向が見られる。